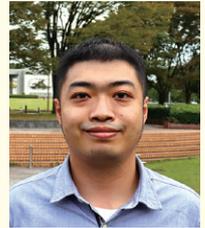


ようこそ!

愛知の ものづくりを支える留学生

愛知県では、2013年度以降、アジア諸国からの大学院レベルの留学生を受け入れ、さらに県内企業への就職を促すことにより、全国一を誇るものづくり産業を支える人材の確保に努めています。このコーナーでは、愛知県の奨学金制度を利用し、県内の大学で学んでいる留学生の皆さんを紹介しています。

名古屋大学大学院工学研究科 有機高分子化学専攻
高分子組織化学グループ デン アンケツ 田 安傑さん



◇中国のどちらの出身ですか。

江西省の出身です。古い歴史があり、漢詩と古文書や景德鎮で有名です。また、水田、河川、山々のある牧歌的な風景で知られています。

竹岡准教授の論文との出会い

◇愛知県に留学した理由はなんですか。

日本は、化学の分野では、ノーベル賞受賞者を輩出するなど世界のトップクラスに位置しています。私は、山東省の中国石油大学で、石油や化学製品について学んでいましたが、大学3年生のとき、名古屋大学准教授の竹岡先生の論文を読む機会があり、たいへん感銘を受けました。石油の研究に比べ、高分子化学は将来応用される範囲が広い分野だと感じ、先生の下で研究したいと思い連絡させていただきました。その際に、愛知県のものづくりを支える留学生の制度について教えていただきました。

今、関わっている研究は、自然界にあるシリカという物質から色を生成するもので、現在、有機物質から作られている工業用の塗料などを環境負荷の少ないものに変えることができます。まだ、実用化には至っていませんが、将来的には、伸びていく分野だと考えています。

◇日本語はどうやって学びましたか。

日本に来ることが決まった後、ウェブを利用して独学しましたが、充分ではなく2021年1月に来日した時は日本語がよく理解できず苦労しました。来日後、友達の協力もあり日本語が上達し、現在N2を取得しています。

日本の就活事情!

◇就職先が決まったそうですが、就職活動で何を感じましたか。

樹脂用着色剤を扱う化学メーカーに採用され、入社後は埼玉の工場にて技術開発を行います。

就職活動をして感じたことは、日本では、面接で、日本語能力に加えて、マナーや協調性などの人間性が問われると感じました。入社後の教育プログラムが充実しているからかもしれません。

中国においては、その会社が行っているプロジェクトにおいて自分がどのようなことができるかを問われます。採用後は、即戦力としてそのプロジェクトに参加します。

◇将来は何を目指していますか。

まず、会社での研究を頑張りたいと思います。その後は、日本企業の中国支社で働いたら家族の支援もできます。ただ、将来はいろんな選択肢があり、自分の可能性を試してみたいと考えています。

～日本のここにびっくり～

◇日本に来て驚いたことはなんですか。

■現金払いが多い!

中国は、既に生活全般で現金を使わず電子決済に切り替わっており、友達同士の支払いにもアプリを使います。日本ではまだ現金があちこちに使われていることに驚きました。

■書類申請に苦労!

役所や銀行の手続きで、紙の申請書に手書きで記入するのに苦労しました。中国では、設置してあるパソコンから電子申請できるようになっています。

協会案内図及び交通案内



地下鉄名城線「名古屋城」駅5番出口より徒歩5分

地下鉄鶴舞線・桜通線「丸の内」駅1番出口より徒歩10分

*令和5年1月4日より、地下鉄名城線の駅名が変更になりました。

変更前:「市役所」駅 → 変更後:「名古屋城」駅

編集後記

今年度、ワールド・コラボ・フェスタを3年ぶりに会場で開催しました。多くの参加者や来場者とお話をさせていただき、イベントを行うことの楽しさを思い出しました。人との触れ合いは、自分に色んなことを学ばせてくれると再確認しました。(東内)

開館時間案内

開館時間 月曜日から土曜日 10:00～18:00
(金曜日は10:00～20:30)

休館日 日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)

編集・発行

令和5年1月16日発行

公益財団法人愛知県国際交流協会

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-6-1 (愛知県三の丸庁舎内)

TEL: 052-961-7903 / 052-961-8744

FAX: 052-961-8045

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp/>

*本誌を作成するにあたり、企業・個人の方に取材を通じてご協力いただいておりますが、登場する企業・個人の営業活動の促進を目的とするものではありません。